

川根本町 校務 DX 計画

川根本町では、教育情報ネットワーク環境において、児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系ネットワーク」、と学校代表メールや保護者等へのお知らせを行う「校務外ネットワーク」、児童生徒が教育活動で利用する「学習ネットワーク」を活用している。

教育における情報化は、区域内で異動する教職員の負担軽減、システムの標準化、1人1台端末の学習ネットワーク及び児童生徒の個人情報等の適正な管理のためのデータのやり取りの安全性の確保と効率化に向けて、ネットワークの統合や十分なセキュリティ対策を講じた環境整備を、国及び県内自治体の動向を踏まえて調査研究をし、校務のデジタル化を促進するため以下の取組について進めていく。

1 学校と教育委員会間の事務文書は、メール等の活用を推進するとともに、クラウドツールを活用した教職員間での情報交換の励行や会議資料のペーパーレス化などにより校務処理の負担軽減を図るとともに、学校及び教職員のスケジュール管理のオンライン化や、学校と保護者間の連絡手段を原則としてデジタル化するなどの取組について検討を進める。

2 校務支援システムのクラウド化とシステムの統合

現在、オンプレミス型で運用している校務支援システムは、教務、学籍、成績管理等の業務で利用している。今後更に教職員の働き方改革への対応が求められるほか、災害時の校務継続のため、令和9年度の第3次川根本町 ICT 教育推進事業更新に合わせて、クラウド型の校務支援システム導入について検討する。

3 教育情報セキュリティポリシーの策定を、町デジタル推進課の指導の下、教育委員会と学校で策定を進めていくこととする。